

1980年11月号

1980年11月5日発行(毎月1回5日発行)

No. 54

# あんふあて

発行人／ 発行所／あんふあて出版部  
定価／100えん 振替口座／ あんふあての会

昭 56.11.25

区 店  
信濃口書室



「いつから……」

この街では、いつから子供の遊びの伝承がとぎれたのだろうか。

子供達の遊ぶ路地も無く  
ただ一列に並ばされては競い合うばかり  
あらゆる所で、あらゆる事を、生きるこ  
とさえ、大人の号令でヨイ・ドン  
いつから大きな子は小さな子に遊びを教え  
てやれなくなったのだろうか  
たまには一緒に遊んでも  
ベタベタと

それが一番楽しいといいたげに  
放心している子供達よ

いつから  
それぞれの親が、  
それぞれの子供にしか遊びを教えてやれなくな  
ったんだろう

詩 鈴木

写真 井上



# あんふあんの目



今日、教育委員会から「健康診断通知書」が送られてきた。裏には「就学時健康診断について」という題で、「法令の定めにより、入学前の健康診断を実施いたします。ついては次のことにご留意の上必ず受診させていただきますようお願いいたします」とある。まるで受けるのは法的義務であるかのようだが、実はこれがまったく赤なウソなのです。

就学時健康診断（以下就健と略す）は一九五八年に制定された「学校保健法」で規定されている。就健は何を目的に行なわれるか、要約すると次のようになるであろう。

(1) 学校教育における子女の健康の問題について保護者及び本人の認識と関心を深める。  
 (2) 疾病又は異常を有する就学予定者については、入学時までに必要な治療をし、あるいは生活規制を適正にする等により、健康な状態で入学するようにする。  
 (3) 盲者、ろう者又は精神薄弱者、肢体不自由若しくは病弱者その他心身に故障のある者については、就学義務の猶予若しくは免除又は特殊教育諸学校への就学若しくは特殊教育級への編入等により、心身の状況に応じた適正な就学を図る。  
 (4) これらのことにより義務教育の円滑な実

施に資する」(渡辺淳「健康診断に反対拒否という」『福祉労働』80月号)

以上、読めば分るように「障害児」を「普通学級」ではなく「障害児」向けの学校へ行かせるのをスムーズに行なうためにあるものだというのが、はっきりと分ります。就健の通知書にも「この健康診断は、心身の状況の概ね全般にわたって行います」とちゃんと書いてありました。

数のラインが上げられたり下げられたりということだであり得るわけです。

このように就健の実施については、学校保健法に規定されているけど、受ける義務については、特に定めていないのです。「母子保健法」による一歳半児健診、三歳児健診に受診の義務がないのと同じことです。従って罰則規定も、もちろんありません。受けるも受けないも、親の意志次第というわけです。

学校保健法施行令によると就健の検査項目は、

(1) 栄養状態  
 (2) 脊柱及び胸部の疾病及び異常の有無  
 (3) 視力及び聴力  
 (4) 眼の疾病及び異常の有無  
 (5) 耳鼻咽喉頭疾患及び皮膚疾患の有無  
 (6) 歯及び口腔の疾病及び異常の有無  
 (7) その他の疾病及び異常の有無(前掲論文)となっていました。この(7)の検査でなされるのが知能検査で、目的は精神薄弱の発見にあるのだそうです。じゃなぜ「知能検査」という項目にしないかというのと、一般の子女の知能の高低を格付けするのは、義務教育の目的から言っても適当ではないと考えられるからだそうなんです。こんな変な話ってないですかね。

「一般」の子女の格付けはよくないが、「一般」と「精薄」を格付けすることは許されるなんて矛盾しています。だいたい知能検査そのものにも疑問があるけど、いったい誰がここからこまごまでは「精薄」でここからは「一般」なんて決められるのかしら。受ける子どもその日の状態によって点数違って変わってくるでしょうね。又、養護学校や特殊教育級の人数が不足しているからということ、点

# これからのあんふあんのその3



「あんふあんと」六年目の活動を具体的に検討する為、十月十二日スタッフ全体会議が開かれました。今年「あんふあんと」としての方向性を見出していく為の模索の一年になるわけです。どのように進めていくか、まず、手がかりとして、五年間の総括作業を行い、全体の流れをつかんでいきます。共同保育やその他のグループの状況を把握していくこと、これはスタッフ総がかりで、かなりきついスケジュールではありますが、どうしてもこの一年間でやっていかねければいけない事です。五年間に出来ては消えていったグループのその後……このあたりの追求は、今までなされていなかったように思いますし、あんふあんとをステップとして、翔び立っていった人もいますし、その後のあんふあんとを拾い上げてゆく事で、これからのあんふあんとの方向と云ったものの、ひとつのヒントになるのではと思えるのです。

次に、情報誌の見直しと、ダイジェスト版の作製。これは、新入会員に「あんふあんと」の全体像を伝えて行く為に、ぜひ実現させたいと思います。アンケートやグループ交流会

をもとに、又、スタッフの何回かの会議により絶対に見落せない事柄を拾い上げ、具体的にとり上げていく事の最終決定もこの日に行なわれました。ひとつずつ述べて行きますと、

● からの事——これはアンケートでも要望が多く、好評の「からのおしゃべりコーナー」を今後も情報誌でとり上げていきたいと思っています。皆さんの声を、どんどんとり入れて行く方向ですので、投稿参加待っています。

● 小学校のこと——就健の時期となり、今年は映画の上映もありますし、小学校の事、一緒に考えていけたらと思います。小さい子を持つている人にとっても、確実にやってくる小学校入学。その時にならなければならぬ今から対策を考えてみませんか、その他具体的に通信簿のことや、学童クラブの事もやっていきたいと思っています。

● 公民館・児童館・婦人会館保育室——まず十一月の国立婦人教育会館会場で、保育室の現状改善についての働きかけを一つのターゲットとして、今後もしつこくやって行きます。又、各地の公民館保育室設置運動もとり上げていきたいと思っています。

● 保育園の問題——公立保育園に子供を預けて働いている人も増えていきますし、あんふあんととしても目を光らせていかなくてはならない事だと思っています。

● コンサート——コンサートチームが「ぼちぼち企画」に変名。十二月のパーティを手始めに、やっとはじめの一步をふみ出します。年に二回位のミニイベントをやる予定です。

● イベント——映画会、みかん刈り・パーティ・スキーツアー・手づくり展・バザー等々、

会員が気軽に参加出来る様に設定しています。グループ交流会も、四月と九月に予定しています。

● 情報誌——今期からは、情報誌の編集はスタッフが均等に回っていく事になり、責任編集者持ち回り制が十一月号からスタート。グループ編集の頁もあります。

以上ざっと並べてみました。その他にグループリストやミニコミリストづくり。事務局での作業としては、月二回のスタッフ会議を中心に、金曜日の事務(雑務)をスムーズに運営していく為の体制づくりが、目下の課題です。これまでの積み重ねの上に、さらにうひとつあんふあんとをしていく為に、各グループ、個人との連携で、この一年やっていくという事で、とにかくスタッフ一同がんばります。

● 会員のコミ第一に——あんふあんととしては、今期一年間、事務局としても、あんふあんと個人個人としても、今の状態をしっかり把握し対処する為に、マスコミによる報道(勧誘)つまり取材には一切応じないことにしました。本当のことを言う、会員の入り方としては、地域の区報などで呼びかけや、公園や団地の中での呼びかけの方がいいのではないかと感じたりするのは違うと思うのです。会員が減ること必至という意見もありますが、一人一人が他へ働きかけて行くという力も大事にしたいと思っています。(井上)

九月二十五日の公南講演会参加者（赤ちゃん、幼児三人連）の意見（あんふあんて）  
十月号に掲載

あんふあんての目

国立婦人教育会館の  
託児のあり方について



九月二十五日、二時から四時半まで、国立婦人教育会館で行なわれた「世界婦人会議」の講演会に行ってきました。  
国立婦人教育会館——知っていますか？住所は、埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷七二八番地。あなたは、どの辺かわかりますか？国立婦人教育会館では、0才児の保育は認めていません。又、基本的には、婦人の学習・教育の為に、幼児は夫に預けて来ることになっています。でも、ちょっと考えてみて下さい。平日に、どうして夫に子供を預けられるのでしょうか。二時から四時半の講演を聞きに行くのでさえ、大田区の自宅を朝十時に出て、帰宅は夜の八時でした。それだけの手がある人は限られています。保育園へ行っている子供のお迎えだって間に合いません。一番下の赤ん坊は母乳です。誰が子供三人連れて行きたいのですか。「夫に」「地域に」と理想論ばかり言っても、現実には女と子供は、ワンセット。おむつの洗濯も、離乳食を食べさせるのも、保育園の送り迎えも女達の肩にしっかりとくい込んでいます。今の

この社会で、乳幼児を抱える母親達の学習及び社会参加というものは託児を抜きにしては考えられないのです。

コペンハーゲンでの婦人会議では、女達が乳幼児を胸に抱き、乳を含ませながら、託児室の設置を要求しながら、会議を進めて行くと聞いています。今、私達が行動を起こそう、イキイキしようと思う時託児にこだわらずにはいられないのです。

日頃、私達が活用している婦人会館、公民館、区民館等の社会教育施設のトップに立つものとしての国立婦人教育会館を見る時、社会教育施設のトップとしての託児のあり方にこだわらずにはいられないのです。せっかくあんな素敵な保育室があっても職員には保母の資格者が二人もいるのです。なんとか会館側にも歩みよってもらってやって行こうではありませんか。

それにしても、国立婦人教育会館はなんて遠いのでしょうか。距離的にも精神的にも、特に子供には。あれではまるで島流しか陸の孤島の様。四才の娘は「大きい婦人会館には、もう行かないよ」と断言。母ちゃんは、ため息。ため息。

今年の秋か来年の春頃に再び国立婦人教育会館での合宿を予定しています。その時点で又、託児室の問題へはしつこく関わっていきましょう。私達がやらなければ、どこの婦人団体も誰もやるはくれないのです。社会教育施設のトップに立つ会館が、どれだけ乳幼児を抱えた女達を拾う気があるのかやってみようではありませんか。（井上）

クリスマスパーティー  
「はじめのいっぽ」へ  
きてみませんか？

コンサートをやるうよと声かけてから一年、紆余曲折ありまして今のコンサートスタッフは四名になりました。やっとなという感じでクリスマスパーティーを催すことになりました。たった四名のスタッフですが、これからは「ぼちぼちやっとな」ということで、チーム名を「ぼちぼち」ということにしました。もちろんこれからスタッフに加わってぼちぼちやっとなという方、大歓迎です。

さて、クリスマスパーティーの事ですが、十二月十四日の日曜日に十二時から三時まで食事つきでやりたいと思っています。場所は今のところ「ジョラ」を候補にあげています。費用は大人一人につき千三百円、子供一人連れてきて千五百円、二人連れてきて千六百円を予定しています。中味はいろいろ考えてますが、あけてみてのお楽しみ、きてのお楽しみというところです。もちろん今まで集めたコンサート報告もする予定です。集まった詩の朗読なんかもやろうと思っています。何か表現したい人、発表したい人はもちろん飛び入り歓迎です。コンサートチームが、「ぼちぼち企画」に変わって初めての催しです。というところで「はじめのいっぽ」このクリスマスパーティーに行ってみようという人は十一月末日までに事務局へ申込んで下さい。先着順五十名まで受けつけます。

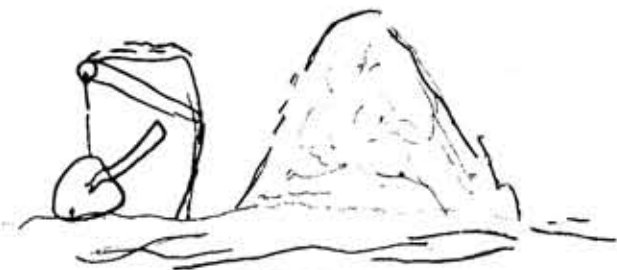
企画「ぼちぼち」



## グループあれこれ

### でいんだんどんの場合

共同保育した頃、そして今……そのⅢ

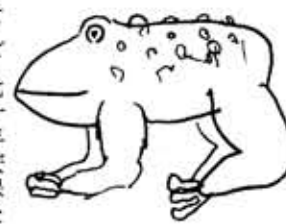


る時は本を読み、ある時は他の親子をじっとみてきた。そんな生活の中で、育児とは、教育とは何だろうと考え始めた。「でいんだんどん」を呼びかけた一人が「育児とは、幼児が生活的に自立する力をつけるのを手助けする事だ」と言う。と言っていた。そんなあたり前のことに、当時は気づいていなかったのだけれど、子どもの成長につれ、それが身につくには、多くの時間がかかる事がわかってきた。衣服の着脱、食事、排泄等も含まれる大きな意味では、片づけや、洗濯等も含まれるだろう。情けない事に、私は片づけや健康管理等うまくできず、二人の子に追いついて、やっと身についてきた様に思う。教育の基礎としても、五感を育てることが、最も大切ではないかと思う様になってきた。

#### 生活技術の獲得

この言葉を教えてくれた人は、彼女の子とも二人だけで沖縄へ行ってしまった。一年程して届いた便りに「いかに人を愛せるか、という事を考えながら生きています」と書いてあった。人を愛するというのはどういう事なのだろうか。私は、自分の子に対してどうなったり、甘やかしたりしてきた。親というより、わがままな人間同士として、全身でぶつかって来たと思う。けれど、他の子に対しては、同じ様にはやりにくかった。他の親子の関係を気になって、子どもそのものをストリートに受けとめにくかった。というより、もっと深く関わり合いたかったので、母親の、子どもの人間形成に影響している部分を批判しあいたかった。けれど、うまく言葉になら

## 男からの手紙



僕の世代はビートルズそして七十年安保という大きな二つのファイルを通して来た。このファイルは「何故」という疑問を持つ

小平市

## からだの

### おしゃべり



私がからだに興味をもって、そろそろ三年になります。そして今、からだに就いての考え方から変わりました。まだまだ、自分のからだから自分のものになっていない私の間で、からだの会で人に出会い、このおしゃべりコーナーを一年間受けもっていきこうと思っています。

私がからだに興味をもったのは「野口」整体を知ったからです。私の場合、整体協会の会員ではないし、ちょっと聞きかじり読みかじりの勉強なので、どこまで正確にいかんというのか疑問です。しかし、私がからだに関わるとする時の基礎になっています。

たとえば病気に對する考え方、ずいぶん変わりました。健康イコール正常の価値観。また病気に死に連なるものとして私たちは徹底して嫌ってました。でも、病気をしない事が健康なのではなか。悪いものを食べれば嘔吐下痢をするのが正常な反応だし、病原菌が体内に入ると熱を出し病原菌を殺してしまふ。正常なからだは病気をします。そんな正常な反応を薬で押さえるのも、複雑な反応をし、からだに負担をかけるのではないでしようか。風邪も愛すべき反応で、日頃たまっている疲労や異常を直してくれるのです。

季節の変わり目に風邪をひくなんて素敵な事です。鈍いからだの人は風邪なんてひけず、あるいはせきかきひいたのに薬で押えたりしてると、ある日とんでもない重病になっていたりして事になるのです。自然の流れにそって病気が直った時、一度も二度もむけたように美しく強くなっているといわれています。ここで風邪の調節の時に使う「足湯」を紹介します。



足のくるぶしまで普段の風呂より一二度高い湯につけ、六分たったらその間、湯が冷えないようにさし湯する。乾いたタオルでよく拭き赤くならない方の足だけを更に二分位温めます。気分がグズグズしてからだに重いつまみ、かぜのひき始めの時などにすると後がすっきりします。ためしてみてもいい。整体に就いてこれだけで終るのは余りにも舌たらずだけれどいづか又にして――

からだでもう一つ私たち女は、子供を産む性を持つ側であり、それゆえの問題があります。この間のアンケートの中にも避妊の事を続けて欲しいとの声があったり、よいお産をしたいなどの希望もありました。そんな折、富士見病院の事件があり、今一度産む性である私たちについて考えてゆこうと思っています。

からだに関する事なんでも疑問、日頃思っている事、おたより下さい。いろんな人の声と共にこのおしゃべりを続けてゆきたいと思っています。

(永田)

ことを教えた。政治活動に入った者もいたが、そのことにも疑問を持った者は旅に出た。国外にと。二十才だった。何度も国外に出た。国外では日本とは価値観の違う生活を持つ人々に触れた。そして「何故」という疑問は、数倍に大きくなっていった。この巨大化した「何故」は、この僕達を住居・職業・女性を転々とする方向へ押しやっていた。社会への不信、女性への不信、人間への不信もそこに表われてきた。全てが不確実。

魔物と化した「何故」は考えることを強制してきた。考えすぎた。飲みすぎ、食べすぎと同じように考えすぎた。何もかもがいやになった。崖に立たされてしまった。この崖から落ちた者もいた。僕はその時、小さな糸口を見つけた。この小さな糸口は大きな発見だった。それは「考えても救われないのに、これ以上考え続けたら救われない」という発見だった。しかしまだ崖の上に立っていた。その時、何かが走り抜けていくのを見た。神だ。瞑想といえどガガと共にこの神。神は目を開かせてくれた。今まで見えなかった僕の世界をあけてくれた。そして見えるようになった。あなたがあたが、僕と同じ人間ではあるけれども女性だっていうこともなんだ。そしてお互いに不可欠だということもさ。女と男がいる。それが自然。ごめんよ、それが見えなかったんだ。神、僕はここに出てきた。そして三十才になっていた。

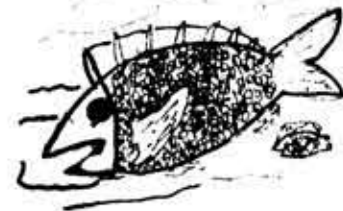
神あるいは、そうだった事に興味、関心がある人と小さな話し合いの場でも。

伊藤



あんふあんてから

あんふあんてへ



あんふあんての皆様、母親たるもの病気は  
していられますね。かくいう私は、そろそ  
ろ入院一ヶ月になろうとしている不甲斐ない  
母親です。私どもは、二才九ヶ月と一才二ヶ  
月の二人の男の子を抱えた核家族のマンショ  
ン暮らし。どうしても母子密着は避けられない  
という感じ。子供に仲間をつくってやれ  
たらと思つて、あんふあんてに入会したので  
したが、ここ川口には、現在活動しているグ  
ループはありませんでした。入会した頃も、  
そう体調は良くなかったけれど、子供との閉  
塞状態が改善されたら、体の具合もひとと  
したら良くなるかもしれないという甘い期待  
もあったのです。根がなまけものだから、精  
力的にグループづくりに動くまでにはいかず、  
先輩会員の活躍に希望を託したりして序々に  
出来たらいいなと思つていたら、持病の腰痛  
が悪化し、椎間板ヘルニアというれっきとし  
た病名までつき入院するはめになってしま  
いました。病院での暮らしは、外からの便りが普  
段以上に嬉しくて、あんふあんての会報もい  
つになく熱心に読んだりしています。子供の

心配さえなければこの一ヶ月は、少々退屈で、  
その上ベッドに縛りつけられながらではあり  
ますが、育児等を三年近く続けて来た身には、  
夢のような休養でした。息子達は、私の実家  
に預けたのですが、片時もじっとしているこ  
とのない二人は、両親と妹はすっかり振り回  
されてる様子です。どうしているか訊こう  
と電話をかける度に、子供二人は元気過ぎ  
るくらい元気、まいていっているのはおとな達、  
早く引き取りにこれないか」という悲鳴を聞  
かされるものですから、ついついかけける電話  
も間違になつてしまいました。  
もうじき退院させて貰えそうですが、病氣  
の性質上完治とまではいかず、自分の間は今  
まで以上に、家事は手を抜き、外出も控え、  
謹慎、盤居しているつもりです。元気だつた  
らしたいこと、行きたいところ、みたい映画、  
コンサート、沢山あります。事務局にも  
一度、お邪魔してみたい、ひなたぼっこ会  
にも連れて行ってやりたい、会報を見る度そ  
う考えておりますのに、口惜しい限りです。  
今思うことは、一人を背に、一人の手を引  
き、着替え、おしめ一式を詰めこんだ手提袋  
をひきさげて、どこへでも出かけられる体力  
が欲しい。それだけです。私、見かけはそう  
いうタイプ(体型)なのです。それだけに口  
信しい。会員の皆様、スタッフの方々、今後  
の活躍の為に、腰に支調をおぼえましてら  
うというよりは普段から、腹筋、背筋、大腎筋  
等々の筋力を鍛えて、決して、私の二の舞  
を踏むことのないよう、心して下さいませ。  
病床より、弱き母。

(川口市)

「一つの事件」  
改憲論議や防衛費増大がいつこのあいだま  
で新聞紙上を賑わせていたけれど、この事と  
決して無関係でない一つの事件が私の身辺に  
も起っています。

「児童扶養手当法」の一部改定がそれです。  
この児童扶養手当というものは、父母が離婚、  
父と死別、未婚で生まれた子供達に国から支  
給される手当の事だが、今回(非)婚の母  
に対して、男からひんばんに定期的訪問があ  
る場合、支給が停止される事になったのです。  
理由は、社会一般の倫理観に反し、非倫理的  
な行動を助長しているとのことです。又、妻が  
子を連れて家を出した場合、夫の暴力、女性  
関係、ギャンブル等が理由であれば、子に手  
当は支給され、妻が夫と性格の不一致、ある  
いは他の男ができて家を出した場合、手当  
は支給されない、とあります。「児童憲章」  
には児童は人として尊重され、と書かれてい  
るにもかかわらず、女親が、ひとたび主体者  
となる時、子は尊ばれるどころか切り捨てられ  
てしまうのです。妻は夫に従いという論理が  
未だ、見事に生きており、そこから逸脱した  
者は、社会的倫理観からはずれるとして攻撃  
され、賃金差別に喘ぐ女に押し、わずかの子  
に与えられる手当金さえ、もぎとられてしま  
うのです。そして、それは、近い将来、一台  
の戦艦に化けないうと、誰が言えるでしょ  
うか?

(藤沢市)

十年を過ぎての10・21反戦デーに

「反戦あんふあんて」より

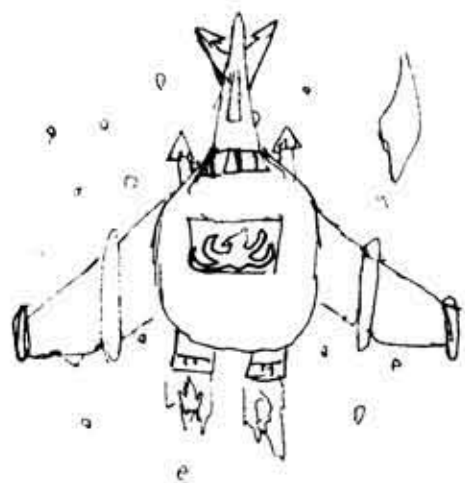
河島英五「生きてりゃいいさ」が、ラジオ  
から流れてきた。「喜びも悲しみも、立ち止  
まりはしない」思わずボリ・ボリとあけつ  
つ私もうたてました。「生きてりゃいいさ」  
今日は十月二十一日です。この日は、ベト  
ナム戦争が激しかった頃、この日本でも「反  
戦」ということで、とりあえず様々な団体が  
その日だけは「明らかに、人殺しという行為  
を国と国という力によって平然と遂行してい  
る」ことに「やめて欲しい」という意志表  
示をしに人々が街頭で集まったり、叫んだり  
しはじめた日でした。バリでも、ニューヨーク  
でも人々は行動し始め、国際反戦デーとな  
ったのです。それも戦火がさらに西へ移動し、  
事態はますます一般の眼からは複雑に見え、  
風化してしまつたとしてもいいのではありませんか。  
私は忘れません。政治家でも、評論家でもな  
い私は、とりあえず、依然として世界のどこ  
かで子供達が逃げまどい、母親達が最低限の  
生活をすらすらと苦しんでいるのを見通す  
訳にはいきません。そして、それを手伝って  
いるのが、自分達の国の力をもった人達では  
ないかと知る時、それを与えているのがわた  
したちの夫や周囲の男達の会社「仕事」だと  
気付く時、女達は何をしただけのいいのでし  
ょうか。問題が大きすぎて、途方に迷います。  
けれど、とりあえず、一度でも、10・21反戦  
デーに参加したことがある人には、どこで何を  
しているのだからかとすねてみたい。

アジアの片隅で、吉田拓郎歌岡本おさみ(詞)

一晩たてば、男は、借りた金に減ばされ  
るだろう。年寄りや放浪者は、乾杯の朝  
をむかえないだろう。一晩たてば、セー  
ルス・マンは道路にすわり込むだろう。  
という曲を、歌を叫びつ、私も酒飲んで、  
ひっくりかえる気分です。とりあえず、「何  
か思い」があるならば、場を選ばずに、形に  
してみる私です。結局、当日21日、私も、雨  
がザーザー降り降る中、どこへも「反戦」の  
為にはでかけず、ちょうど子供のところへき  
ていた。「和光市手をつなぐ親の会」主催の  
「春男の翔んだ空」という障害児教育に一生  
を費やした教師の映画を観にゆきました。作  
ったプロデューサーの山田火砂子さんの話に  
も、素直に泣かれました。彼女自身、たま  
たま障害児の親となった人でした。「もし私  
が、こういう娘を持った人だったら、私も知恵  
遅れの子供に平気でバカという親になったか  
もしれません」という彼女の存在を私は貴い  
と感じた。障害児を先ず、カッコよくくりつ  
けないでと私も思う。

求め走り廻る人間たちへひょっとしたら、私  
もその一人かも?」の後で、ちよつとでも条  
件の悪い人々(たまたま、選んだ夫や血縁関  
係、しがらみの中で、あがいている女たち)  
運の悪い人、たまたま能力を磨くチャンスの  
なかった者が、何故か忘れ去られ、置いてき  
ぼりを食っている事実を特に最近、ひしひしと  
感じています。「自分が獲得した」場の中で  
それらを踏まえて、本当に価値ある「仕事」  
に従事する女たちがこの社会の中で真の力を  
もって生きてゆく為にも、私のようなつづや  
きを、「ああ、ボランティアね。主体性のな  
い偽善的な生き方ね」と十把ひとからげにや  
り閉じ込めない方がいいと思う。ちよつと問  
えば、「交通遺児」「母子家庭」「家庭内  
暴力」「落ちこぼれ」「登校拒否」「ロ  
ン地獄」「中高年対策」「老人問題」と様々の  
「レッテル」が、貴女や私、そしてその子供  
たちに貼りつこうと飛び交う毎日ですから。

(和光市)





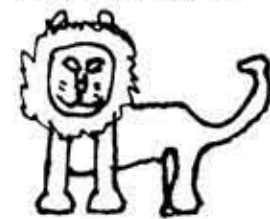
# あっちこっちルポ

'80年女の大集会

PART Ⅱ

疑おう、はみ出そう  
つなごう、女々

(東京・豊島公会堂)



十月十四日(午後一時〜四時半)デモ出発  
五時)呼びかけ団体、あごら、アジアの女  
ちの会、国際婦人年をきかけとして行動を  
起こす女たちの会等十八団体として全国から  
いっぱいのリブたちで始められた、女の大集  
会(千人集会)は、世界婦人会議での報告か  
ら始まった。政府は、婦人差別撤廃条約に調  
印したが、国内法の改正など批准に持ち込む  
までには、まだ日がかかりそうなこと、一刻  
も早く私達の圧力で批准に持ちこませること  
その場合、保留(例外)という項目を入れさ  
せてはいけないこと(何もかも例外にさせら  
れてしまう)。アジアの女達の会からは、国  
籍法中「出生の時に父が日本国民であるとき」  
の父を父母(当り前)に改めることが強く出  
され沖縄の無国籍児の問題が語られた。今回  
の特色としては、女は戦争には反対なのだ  
というカラーがすごく強く語られ、ああほんと  
に今の世の中ヤバイよ、という気にさせられ  
た。家へ帰って考えた。今回アビールしなかつた  
あんふもって何だろう、リブなのかなー。  
ちよっとリブ、ぼちぼちリブってとこかなー。  
しかし戦争に関しては、絶対に私達は国防婦

人会にはならないと明言したい。(本当のこと  
を言うと次回はアビールしたいのです)

(井上)

私は、これまでいろんな女達と出会い、語  
り合い、共に行動する事でお互い生きてる事  
を確認しあってきた。自分が女である事から  
女にこだわらず、女って仲々やるな、女って  
捨てたもんじゃないよと感じる事も多く、何  
やら希望がわいて来て、ひさびさに女の集会  
に出掛けてみたのです。

女の集会ですからもろん託児つき。会場  
を走り廻る子供達。この雰囲気。ちらほらな  
がら男の姿も見られ、歩みはのろくてもしっ  
かり根をはった運動の成果を感じました。

しかし、これに水をさす人が居るんですね。  
例えばセクト色丸出しのお姉様、黄色い罵声  
をあびてもたじろぎもせず。かたや「こは  
男の来る所じゃない!」と叫ぶ女たち。気弱  
な私はすっかり混乱してしまい、希望の灯も  
消えかき、疲れたな、それにしても女の  
垣根って思ってたより高く張り巡らされて、  
お互いが見えなくなっているみたい。これじ  
ゃ女の解放なんて絵空事ではないのかと、不  
覚にも思いついた次第なのです。

それぞれのグループによるアビールは、い  
ちいちごもつともなだけに、自己満足の微笑  
みを感じたのは私だけなのでは? うか? そ  
れとも私が偏見に満ちているのかな? 無意  
識の内に囚われているんだよね、女も男も。  
それでも、やっぱり女が好きだし、女の持つ  
可能性、そのしなやかな感性も信じていきたく  
いと思っています。  
(北山)

十月十四日、豊島公会堂に女の集会PART  
Ⅱに行ってきた。まず今夏コペンハーゲン  
で行なわれた世界婦人会議の報告が行なわ  
れました。それから婦人差別撤廃条約に関し  
て各グループから、アビールがありました。  
この条約だって、黙ってると、政府の勝手な  
解釈でどのようにねじまげられるかれない  
し、又この条約で、私たちの生活がどう変わ  
っていくのかということなどが、わかりやす  
く行なわれました。コント・フィルム・歌な  
どによるアビールで、お世辞にも上手とはい  
えないものでしたが、子供が舞台にあがって  
演じてるかあちゃんの袖をひっぱったり、手  
をつないでキョトンとしてたりと、まさに女  
の集いという感じで和気あいあいとしてまし  
た。夕方、別の話し合いにでかけて、愉快で  
楽しかった(あとから聞いた話で)デモには  
でれなかったのが残念でした。



(砂田)

## 図書コーナー

「ミューンヘンの小学生」中公新書  
「ミューンヘンの中学生」朝日新聞社

著者 子安美知子

本書は、両親の留学先のミューンヘンで、た  
またま娘のフミを、「自由ヴァルドフ学校」  
に入学させ、その独創的な経験を通して、日  
本の学校の今、直面している問題点をうきぼ  
りにし、教育とは、何かを改めて考えさせて  
くれる。まずこの学校には、テストや教科書  
がなく、通信簿も点数制でなく、それが先生  
自作の詩であったり、又は文章なのである。  
又入学以来八年間担任が同一人物で、「エボ  
ック授業や、オイリョートミー」という一風  
変わった授業によって成りたっており、障害児  
も何人かは優先的にクラスに入れられるので  
ある。「エボック授業」と呼ばれるその系態  
は、主要教科は一科目を集中的に三〜四週間  
やるのである。その理由は、教科書を並列的  
に学んでいく時間割では、しゅせん、すでに  
出来上った知識を受動的にとりこませること  
にしかならず、知識ができていくプロセスを  
体験することは出来ないとするのである。又、  
オイリョートミーという変わった授業では、「子  
供の体を楽器にする」ことを目的とし、十四  
歳までは子供の頭に来あがった知識を注入  
しないよう考えているのである。幼児期は、  
手足から頭の方へ物が流れるのを原則とし、  
学校にあらがもしないうちから頭の中にだけ  
とどまるような知識の記憶をしいられた子供

は、その知識が生命力をみだし意志力を強め  
るような触媒とならないと。そして、著  
者自身をもオイリョートミーを学び、それは  
パントマイムをも能をも連想させるがそれと  
も重ならず、パレエとも本質的に違っている、  
見えないものを見る形にする意識の芸術な  
のだ」といわれている。

この学校では、ではあまり勉強しなくても  
よいのかというところでもなく、エボック授  
業の終わりに、自分の手で教科書を作り出  
さねばならず、それはテストのように統一  
でなく、我々の学んだ学校と比べると、画一  
と個性、受け身と能動、模倣と創造といった  
違いが対照的にあるのである。

さらにこの学校の音楽教育の特徴は、音楽  
を人間として、必要不可欠と考えそして、小  
学校時代の勉強はすべて、音楽と絵から出発  
しなければならぬとしている。それもオイ  
リョートミーの中で二つも三つもの楽器をこなし  
ミューンヘン市民のために演奏会まで開くので  
ある。こきざみに、ピアノだバレーだと呼し  
て、カバンをさげて習いに通う日本の子供達  
があれにもなる。そして卒業には、今まで  
のすべての成果を出すべく、卒業芝居をやる  
のである。

あんふもんで、芝居をやるうと頑張る人  
達、この学校の生徒的要素が強いのだろう  
か。私達の大半は、テストテストの全力疾走  
で疲れるか、又はいじけてしまっ、人生こ  
れからという時、頭は老化現象をおこし、無  
気力になっているのではないだろうか。  
そして最後にシ・タイナー教育のことばで  
この本は終わっています。

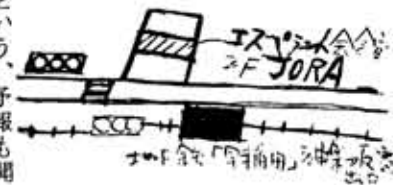


「戦争や窮乏が人間をよくすることはあり  
えない。  
だが、経済の高度成長や、富もまた人間を  
よくしない。  
道徳的なお題目は、どこからくるものであ  
っても、けっして人間をよくしない。」と。  
来年から学校に入る娘をとりまく教育は、  
果たしてどんなものだろうか。出来れば娘を  
こういう学校に入れたいが、もしそれが出来  
ないなら、親として、どのように対してい  
たらいいのだろうか。心乱れる今日この頃で  
ある。  
(八千代市)

## 集まれ！ 合宿



X'mas PARTYで  
出合いの一步を  
ふみ出してみませんか



今年も国立婦人教育会館での合宿が開かれます。テーマは「公民館保育室の現状と国立婦人教育会館の託児について」です。今私達に身近な問題の一つとしてとりあげました。現在公民館や区民館での保育活動をしている人はもちろん、これから思っている人、またこのチームにこだわらず参加できる方は、どんな申し込んで下さい。今回はやむを得ない事情がある場合（他に子供の世話をする者がいないとか母乳であるとか）のみ子連れ可能です。子連れの方はその旨事務局まで伝えて下さい。

11月23日(日)・24日(月) (一泊二日)  
宿泊場所・国立婦人教育会館(東武東上線武蔵嵐山駅下車) TEL 04936216711  
集合場所・池袋駅東武東上線5番線ホーム  
進行方向一番前  
集合時間・10時30分、11時0分発の森林公園行のりまですので時間を厳守してください。  
費用・一泊 千二百円、子供 五百円  
食事は別です。申し込みは事務局まで。

今年の冬は寒さが厳しいという、予報も聞かえてくるけれど、たまにはワイワイにぎやかに八十年しめくりをやってみませんか。あんふふんて「クリスマス・パーティー」のお知らせです。先号で、コンサート・スタッフが「パーティー」の企画に取り組んでいるという記事を書いたのだけれど、覚えていてくれますか。今日は、日時・場所もほぼ決まったので皆で来て下さい。  
プログラムとしては、特に女向け・子供向けにあえてこだわらず、ふだん会えない会員同志の出会いの一步が持てる場づくりに思っています。だから、子供も遠慮なく連れて来てほしいし、又、日曜日だから、つれあいの子を預けて一人で来てくれても楽しいと思う。もちろん、家族みんな来てくれたらとてもうれしいのです。  
さて企画している一部をここで少し紹介してみます。  
人形劇では三つぐらいの話を用意しているし、語りもユニークなので、子供ばかりでなく大人も楽しめる事確実です。

そして、私たち「ぼちぼち企画」がコンサートのためにずっとあたたためてきた女の詩の朗読と唄。ちょっとミニ・コンサート風にやってみるつもりです。  
モダンダンスもやります。題して「みんな踊ろう」です。飲んで、食べて、おしゃべりするだけでなく、皆で一緒に体を動かしてみるのが、きっと爽快ですよ!!  
「あんふふんて」で連載されていた対談インタビューは、当日実況で行います。さて、さて、何が出来るやらお楽しみ!!  
それから、オークションもやりたいので、一人一品何でもいから用意してきてください。(売り上げ金は、パーティー費用としてカンパしてくれる事を、ここでお願いしておきます)その他、飛び入り、大いにけっこうです。食べ物・飲み物の持ち込み大歓迎!!  
会場の関係で、先着五十名の制限つきなので、早めに事務局まで申し込んでください。  
●12月14日(日) 午後12時半から3時  
●場所「スペースJORA」(地下鉄東西線「早稲田」下車三分) TEL 03(203)6022 新宿区早稲田12の3  
●当日は軽い昼食と飲み物を用意します。  
●費用は一人千三百円、子供連れで千五百円。(ぼちぼち企画・牧田)

## 情報コーナー

★写真見習募集  
週三日位写真版下を覚えて見ませんか。(子連れ可)私は一人で印刷の仕事をしています。



★先月号に掲載された「にらめっこしまし」の文中、1部160円は250円の誤りですので訂正いたします。

★0・1才児ひなたぼっこ会(大山宅)  
11月18日、12月4日、18日午前10時/午後3時  
千円。大山宅(事務局)。連絡・神田  
必ず予約電話を入れて下さい。

★来年三月に、あんふふんてバザーをやりたいと思います。

衣類(子ども服、大人服)、小物、雑貨類(手で持ち運びできる程度の物)等、捨てないでとっておいてください。(事務局から)

★葛飾・共同保育  
第5次共同保育を青戸(及びできれば水元でも)で開始することになりました。乳児が多

いので不要な乳母車(双児用など最高)を求めています。方針その他はまだ決まっています。せんが共同保育専用の場を作れそうなので役に立ちそうなものがあたら教えて下さい。  
11月22日(日) 「保育園・幼稚園でなくなぜ共同保育か」の話し合い

★12月7日(日) 都立青年の家においてバザー  
あんふふんての皆様参加、御協力をお願いします。出品は中国物産・衣類・本・お手玉他手芸品の予定。

★あんふふんてスキーツアーだよ!

12月25日(日)午後から28日(日)夜(三泊四日)  
岩原又は新日本湯沢スキー場  
宿泊は「かじか荘」(TEL 025781713466) (あんふふんて会員のやってくる民宿。食事がとってもおいしいのだ。) 大体の経費は大人三万五千円。小学生三万円。幼児(脚力のしっかりする四・五才)からスキースクールが可能。二万五千円。貸スキーの場合は六・七千円プラス。小学生だけの参加はシッター料四千円位プラスで相談にのります。  
申し込みは11月25日にはキップを買うので11月24日(日)までに事務局か古知宅(TEL 5500)をあんふふんて口座へ振込。キャンセル料千円。  
その他、子連れスキーツアーについては当方経験豊富。相談にのりますよ。(古知)

★あんふふんて手づくり展作品募集中  
来年二月下旬開催予定の手づくり展、何人かの人とグループからの参加申し込みがありますが、まだまだ不足です。作品を売りたい人、発表だけしたい人の参加申し込みを待っています。連絡先・

★積極派向きアルバイト・説明会と試食会  
産地及び築地直送の冷凍食品を販売するアルバイトです。主に鮮魚、肉他、いずれも加工冷凍品ではなく、素材の冷凍品。私の試食したかぎりでは、お奨めできる優良品で価格も安いと思います。マージンは売上げの5%~10%まで。詳しい説明と試食会を11月27日(木曜日)午後1時/3時、新宿スペース・アウラにて催します。準備の都合がありますので、参加希望の方は電話連絡下さい。  
幾代(留守の時伝言で)

★みかん狩りに行こう!  
11月30日(日) 小田原からバスで15分。子供の足で山登りが30分。もちろん完全無農薬。往復交通費二千二百円(新宿からロマンスカーで)参加費百円(みかん代別)。詳しくは事務局まで。(山田)



## 事務局から

●最近のグループリストが出来上がりました。今月号に同封しましたよ。近くにグループがないから関係ないなんていわないで、新しく創り出すエネルギーにして下さいな。

●手紙、電話とスタッフ全員で情報をかき集めたつもりですがリストに漏れたグループはすぐ名乗り出て下さい。まだグループとして名乗る程では、なんて遠慮は無用。グループ名をとりあえず付けるだけで一人、二人と集まってくることもありますよ。

●先月号にチラシとありましたけど保険の適用年令が小学校三年生までに上がりました。保険の説明書も忘れないで訂正しておいて下さい。来年あたり学童対象のグループが編成されるといいですね。

### 原稿はいつでも募集中

詩、イラスト、写真、感想文、雑文、情報等何でも見たまま、感じたまま書いて送って下さい。自分の言葉が活字になるというのは、気恥かしくもあります。何かしら嬉しくもあって、自分に惚れ直したりもするのです。会費払っているのですから、投稿でもせにゃソッソソ。「あんふんて」は、あなたの情報誌です。

## スタッフから

●前からの話の通り、今月からスタッフ持ち回りで編集長をやることになりました。今月は私の担当です。今までバート、バートで受け持ったことはありますが、全体的にはこれが初めてです。11月号への苦言、提言、感想、是非、是非待っています。(井上)

追伸—今月号イラストは、神田さんの子供(君(一年生)の作品です。



### スケジュールメモ

11月18日(火) 0・1才児ひなたぼっここの会  
11月22日(土) 「保育園」(葛飾グループ)  
11月23・24日 合宿と十二・一月号企画  
11月30日(日) みかん狩り  
12月4日(木) 0・1才児ひなたぼっここの会  
12月7日(日) 十二・一月号編集会議  
バザー(葛飾グループ)  
12月14日(日) クリスマスパティー  
12月18日(木) 0・1才児ひなたぼっここの会  
12月19日(金) 発送  
12月21日(日) 企画会議  
12月22日(月) 11月11日事務局休み  
12月25日(木) スキーツアー出発  
1月11日(日) 企画会議  
1月23日(金) 投稿切  
1月25日(日) 編集会議  
2月6日(金) 発送

★入会申し込みは切手三百円分同封し、住所・氏名・電話番号・郵便番号を記入。宛名は表紙上段に記載。  
★参加費は一ヶ月四百円。なるべく、六ヶ月以上まとめて郵便局で。払込先は表紙に。特に未納の方は至急払い込を。  
★事務局の電話受付は原則として月一金の1〜三時です。御協力を。